



かみさまの ことを みる もの

使徒 1章3節

イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。

復活されたイエス様が、弟子たちの前に再び現れてくださいました。そして、40日間、オリーブ山で弟子たちとともに過ごしながら神の国のことを語ってくださいました。このとき、イエス様は霊的な話をされました。弟子たちが、霊的頂上（サミット）で神様のことを見るよう願われたからです。

多くの人は問題が起きたとき、落ちつかなくなって不安になります。そして、自分も知らない間に、自分の考えによって判断して解決しようとしています。一方、霊的サミットになれば、見る目が変わります。霊的頂上に立って、いま自分の目の前にある問題より「神様！問題のなかに準備しておられる、神様のことはなんですか」と神様に質問しながら、未来のことをながめます。

神様と近づくなら、自然に、霊的サミットになります。どのようにして近づくのでしょうか。いつも神様のみことばに耳を傾けて、そのみことばをおいて祈り、神様が造られた私を発見しましょう。毎日、霊的頂上にあがるために、今日のみことばを黙想しましょう。霊的な目で見えるようになることを祈りながら、落ち着いて挑戦するなら、いつのまにか霊的サミットになっています。今日のみことばに、もう一度、集中しましょう！

きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

きょうのいのり

神様、みことばを黙想して、礼拝をささげるたびに、霊的な目を開いてください。霊的サミットの座で、すべてのことを見て、毎日、祈りの祝福の中で、神様の計画を見る目を開いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様がイエス様を通して私たちにくださった3つの約束があります。その約束を心に留めて、味わう人は、未来の霊的サミットです。それぞれの聖句を見つけて、私だけのことばで表現しましょう。

使徒1章1節

使徒1章3節

使徒1章8節

きょうのでんどう

会う人

準備する資料



わたしの サミットを みつけよう

詩篇
78篇71節

乳を飲ませる雌羊の番から彼を連れて来て、御民ヤコブとご自分のものであるイスラエルを牧するようにされた。

いま、私の中でいちばん大きな悩みは何ですか。いちばん大きな悩みの一つは勉強についてではないでしょうか。勉強がよくできるならば、想定外のことが起こっても、びくびくしたり、がっかりしたりすることが少ないといわれています。勉強がよくできることも重要ですが、本当に重要なことは霊的な力で勉強することです。

レムナントのダビデは、羊飼いだったとき「私の霊的サミット、技能サミット、文化サミット」を見つけました。羊飼いととしての生活で最善を尽くしながら、親と兄たちを最高に手伝いました。ダビデは自分の力でそのすべてのことをしたではありません。まず、あいている時間に、神様のみことばを黙想して賛美しながら、霊的な力を持つようになりました。その力で羊の群れを守りました。このときからつくり始めたダビデの詩は、73篇も聖書の詩篇に記録されています。それだけではありません。イスラエルの王になったとき、預言者サムエルを通して神様がくださった神殿建築の契約を守るために、すべての準備を終えました。

ふだんの生活で、私は何をしていますか。ダビデのように、みことばと祈りの中で霊的な力で私のサミットを見つけましょう。時が来れば、神様がくださった勉強の力、技能で世の中の成功者を生かして、暗やみ文化を崩す証人になるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。成功と答えについて行くのではなく、いちばん最初に、霊的な力を持って、私のサミットを見つけるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろをぬろう

ダビデは、羊飼いととしての私のサミットを見つけました。羊を一匹も失うことなく守っていました。ダビデの羊の点線をつないで羊を完成させ、色をぬりましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
しりょう
準備する資料

Blank lined area for writing names and preparation materials.



モーセのように れいてきサミットに なろう

出エジプト 3章 18節

彼らはあなたの声に聞き従おう。あなたはイスラエルの長老たちといっしょにエジプトの王のところに行き、彼に『ヘブル人の神、主が私たちとお会いになりました。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください』と言え。

パロ王はイスラエルの民が増えて、強くなったのを見て、生まれた男の子をみんな殺すように命令しました。そのときに生まれたレムナントがモーセです。お母さんのヨケベデが、赤ん坊だったモーセをいやすために、瀝青を塗ったかごにモーセを入れてナイル川に流しました。そのとき、パロ王の娘である王女がモーセを発見して、自分の息子として養子にしました。王子になったモーセは、乳母として王宮に入ったお母さんから、契約のみことばを聞きながら成長しました。そのみことばを心に留めていたモーセは、イスラエルを救おうとしたのですが、殺人者、逃亡者になって、荒野で暮らすことになってしまいました。神様はそのとき、ホレブの山でモーセを呼んで、「あなたの足のくつを脱げ。」と言われました。モーセは、自分と自分の過去を下ろして、神様の力を体験するようになりました。それからしばらくして、神様がモーセをエジプトに送られました。そして、「『わたしはある』という主なる神である」と犠牲のいけにえの契約を伝えるようにされました。過越の血の契約（キリスト）がイスラエルの民に伝えられたとき、彼らは奴隷から解放されました。私たちも、この契約を握るなら、モーセが受けたように、過去、現在、未来の問題が解決されます。全世界を生かすサミットの答えを味わうことができるでしょう！

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、モーセのように、私も神様に会って、いやされて、世界福音化に用いられる霊的サミットになるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



なやみが
あります

今月の悩みはなんでしょう。



神の国はどのように臨むのでしょうか

バク・ウヨンほくしふじん

わたし、なやんでいます！21の伝道者の生活の2つ目の質問！

ヨハネの黙示録には「大きな高い城壁と十二の門があつて、都には神様の栄光があり、混じりけのないガラスに似た純金でできていた。また、都の城壁の土台石はあらゆる宝石で飾られていて、都の大通りは、透き通ったガラスのような純金であった。十二の門は十二の真珠であった。都には、これを照らす太陽も月もない。神の栄光が照らすからである」（黙示21:11~22:5）と神の国についての記録があります。そこは、ただイエス・キリストの血によってきよめられた神の子どもだけが入ることができます。

今、行けるのでしょうか。はい！みことばの中に入れば、神の国を体験することができます。「神の国は…義と平和と聖霊による喜び」だからです。（ローマ 14:17）

神の国はことばではなく、ただ力にあります。（1コリント 4:20）いつの日か私たちは、天の故郷と呼ばれる神の国に入るようになるでしょう。その前に、今日、味わうことができる神の国を体験しましょう。福音の契約を、もういちど、堅く握って揺れないでいきましょう。そうすれば、いつの日か237か国を生かして、3つの今日（今日のみことば、いのり、伝道）を通して、行く先々で神の国が臨む伝道者の生活を送るようになるでしょう。



きょうのでんどう

会う人

準備する資料



12

もくようび

イテロのような れいてきサミットになろう

出エジプト

18章 21～22節

あなたはまた、民全体の中から、神を恐れる、力のある人々、不正の利を憎む誠実な人々を見つけ出し、羊人の長、百人の長、五十人の長、十人の長として、民の上に立てなければなりません。いつもは彼らが民をさばくのです。大きい事件はすべてあなたのところに持って来、小さい事件はみな、彼らがさばかなければなりません。あなたの重荷を軽くしないで。彼らはあなたとともに重荷になうのです。

モーセのしゅうとイテロは、モーセが人殺しとして荒野にいたとき、娘のチッポラを与えて、婿として迎え入れました。そして、自分の財産だった羊をモーセに任せました。そのおかげで、モーセは安全に守られ、40年間の王宮生活の傷もいやされました。静かな時間にみことばと祈りの中で霊的訓練を受けることができたからです。ホレブの山で神様が呼ばれたとき、履いていたくつを脱ぎ、神様のみにことばに従順であったので、エジプトに行って、血の契約を伝えることができました。

出エジプトした後、荒野に来たイテロは、民の要求と裁判で疲れたモーセを見ました。イテロは、モーセを助けることのできる人々を立てなさいというアドバイスをしました。特に、神様を恐れる、力のある人々、不正の利益を憎む人々を立てなさいと弟子の条件も知らせました。モーセが出エジプトの答えを受けることができたのは、神様の契約を成し遂げるように助けたイテロの献身と知恵があったからでした。イテロは、おそらく、自分の献身が出エジプトの驚くべきみわざに用いられるとは思わなかったでしょう。私も神様がなさる未来を考えながら、私にできる小さな献身を見つけてみましょう。

きょうのみことば



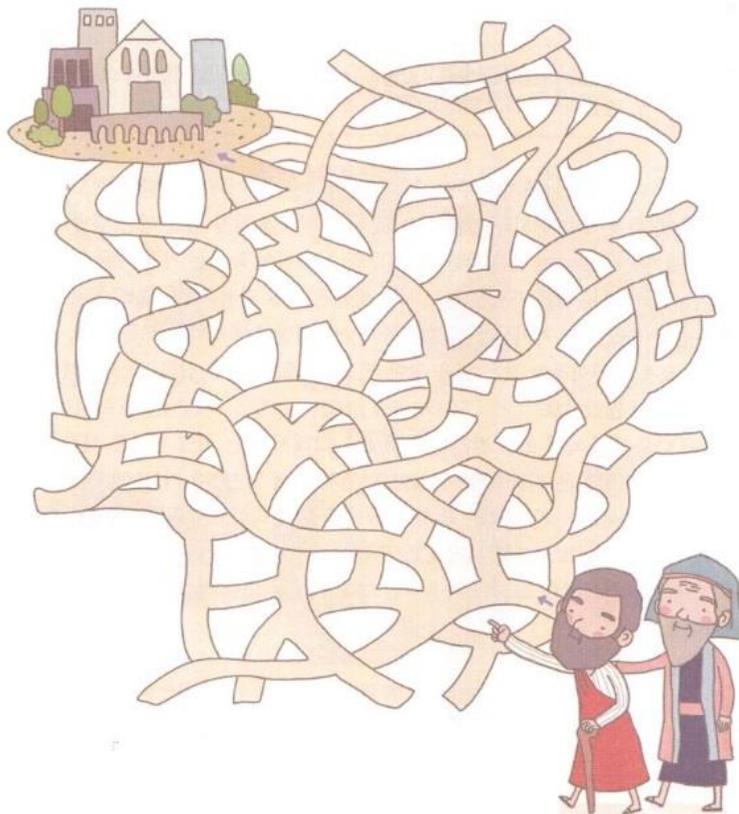
きょうのいのり

神様、私を霊的サミットと呼んでくださって、ありがとうございます。モーセを助けたイテロのように、牧師先生と教会を助ける小さな献身を見つけることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



めいろ

カナンに向かって行くモーセを助けたイテロのような、私の小さな献身はなにかを神様に祈りながら、めいろをとおりましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank area for writing preparation materials.



サミット でんどうの おくぎ

使徒
9章 15節

しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、
わたち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」

サミット伝道とは、神様が私にだけくださった唯一の伝道を見つけることです。そして、伝道サミットとは、私が唯一の伝道者になることを言います。サミット伝道を最も簡単にする方法があります。絶対不可能だと思える所を見つけることです。また、人々がのがす一番小さいことを始めることです。サミット伝道を持った伝道サミットのパウロは、いちばんはじめに「選びの器」という神様のみことばを握りました。カイザルという絶対不可能な現場で、会うすべての人、行くすべての場所、すべての事件という小さいことを見つけて伝道しました。みことばを握って行って、困難が来て恐れませんでした。

神様は私をパウロのように用いようと願っておられます。ですから、私はサミット伝道を始めれば良いのです。神様のみことばは今も生きています。まず、私のみことば(福音)、祈り、伝道を見つめましょう。聖日のみことばと子どもの祈りの手帳のみことばを私の文章として整理しましょう。そのように整理されたみことばを、祈りの課題にして、祈り始めます。また、会うすべての人に整理された福音のみことばと祈りの答えを伝えましょう。そうすれば、パウロのように、伝道サミットになって、みことばの力を体験するようになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、サミット伝道をする伝道サミットとして、呼んでくださってありがとうございます。全世界のわざわいを防ぐ伝道サミットになることができるように、みことば、祈り、伝道の流れに従って行くように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



福音を伝えたい友だちに次のページの伝道トラクトを渡して、サミット伝道をしよう。

ワーク

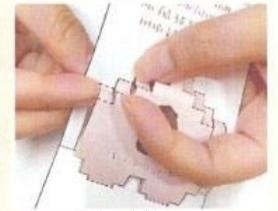
みこころが見える伝道カード



1 次のページの伝道トラクトを切り取って2枚にします。



2 ハートの絵の紙の実線をカッターで切り抜きます(低学年のお友だちは、大人と一っしょにカッターを使ってください)



3 点線の部分をすべておきます



4 2枚の裏面にのりをつけて、はりあわせ



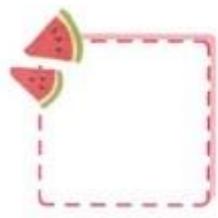
5 ハートがポン!と飛び出してイエス・キリストの心が見える伝道カードのできあがり!



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぶく
準備する資料

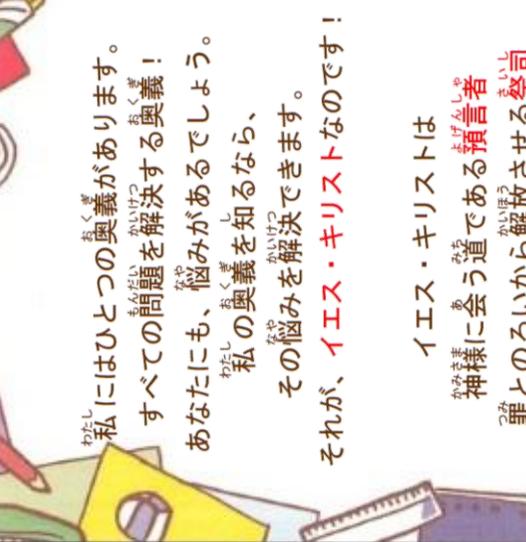


▽



！おめでとうございます、私（わたし）の奥義（おくぎ）を、教えてください。私（わたし）の奥義（おくぎ）を、教えてください。私（わたし）の奥義（おくぎ）を、教えてください。

いざだから
らから



私（わたし）にはひとつの奥義（おくぎ）があります。すべての問題（もんだい）を解決（かいげつ）する奥義（おくぎ）！ あなたにも、悩み（なやみ）があるでしょう。私（わたし）の奥義（おくぎ）を知るなら、その悩み（なやみ）を解決（かいげつ）できます。それが、イエス・キリスト（イエス・キリスト）なのです！

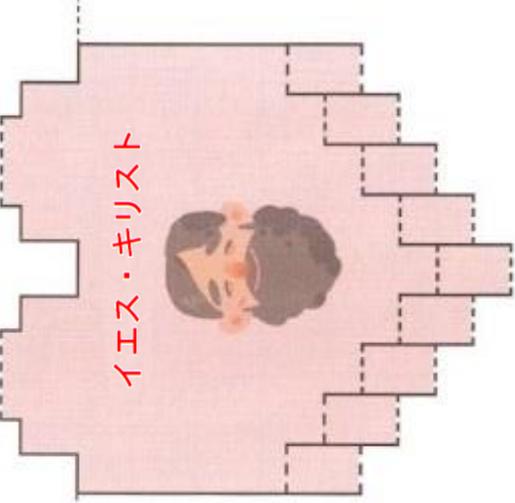
イエス・キリスト（イエス・キリスト）は、神様（かみさま）に会う道（みち）である預言者（よげんしゃ）罪（つみ）とのろいから解放（かいほう）させる祭司（さいし）サタン（サタン）を踏み砕（ふみくだ）く望（のぞ）みます。



受け入れ（うけいれ）の祈り（いのり）

神様（かみさま）！ 私（わたし）は罪人（つみびと）です。いままで神様（かみさま）を知らず、会（あ）いませんでした。それゆえ、会（あ）えませんでした。考える（かんが）うしかなかった（しかなかった）のです。しかし、いま、この時間（じかん）、イエス・キリスト（イエス・キリスト）を心（こころ）の主（しゅ）人（じん）として受け入れ（うけいれ）ます。私（わたし）の中（なか）に来て（き）てください。私（わたし）の人生（じんせい）を主人（しゅじん）とな（な）ってくださ（くだ）さり、私（わたし）の人生（じんせい）を主人（しゅじん）として導（みちび）いてください。イエス・キリスト（イエス・キリスト）の御名（ごな）によってお祈り（いのり）します。アーメン

おめでとう！
あなたは、いま、神（かみ）の子（こ）どもになりました。



イエス・キリスト

いま、受け入れ（うけいれ）るなら、その芳（かほ）に会（あ）って救（すく）われて、悩み（なやみ）もすべて終（お）わります。そして、神（かみ）の子（こ）どもになれます。奥義（おくぎ）を持つ（も）つことができ（でき）るのです。裏（うら）にある受け入れ（うけいれ）の祈り（いのり）をすればいいのです！



14

どうぶ

サミット じゅうしょくしゃのモデルについて いこう

使徒
11章 19節

さて、ステパノのことから起こった迫害によって散らされた人々は、フェニキヤ、キプロス、アンテオケまでも進んで行ったが、ユダヤ人以外の者にはだれにも、みことばを語らなかつた。

聖書には、伝道者を助けて現場を生かした重職者が、あちこちに記録されています。私たちも重職者になるでしょう。ですから、幼いころから聖書のモデルを見て、考えて、学ぶことはとても重要です。

当時の教役者だった使徒たちが福音を伝えたところ、ギリシャ語を使うユダヤ人のやもめと、ヘブル語を使うユダヤ人のやもめの配給の問題で、教会の中に争いが起こりました。そのとき、使徒たちがみことばと祈りに集中するために立てた働き人が、7人の執事でした。7人の執事は御霊と知恵とに満ちた、評判のよい人々でした。彼らは使徒たちが、福音と伝道に集中することができるように、教会と人々の世話をし、さらに福音を伝えました。その中でも、いまでもサミット重職者のモデルと呼ばれる人がいます。それが、ステパノです。ステパノは福音を伝えたために石に打たれて死んだ最初の殉教者になりました。その後、アンテオケ教会がたてられるようになりました。

私たちもステパノと同じような重職者になることができるように準備しましょう。いま、まかされたお手伝いや勉強に最善をつくして、だれであっても大胆に福音を伝えているなら、ある日、サミット重職者のモデルになっているでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、私を未来の重職者として呼んでくださって、ありがとうございます。私に与えられた小さなことに最善をつくして、すべての人に大胆に福音を伝える伝道の門を開いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



サミット重職者のモデルになるために、福音で私の霊を生かして運動で私のからだを生かしましょう。

たいりよくをつけよう

脳とからだをつなげるポイント！「**脊髄**」を刺激する

ゴロゴロ運動



01

両ひざをたてて
両手で足を
持ちます



02

背中を丸くして
そのまま後ろに倒れて
反動を利用して
元の姿勢に戻ります



03

この動作を
10回以上繰り返します

注意：頸椎（後頭部と肩がつながるところにあるちょっと出ているところ）に無理な力がかからないように注意しましょう。尾てい骨が床にあたって、皮膚が傷つくことがあるので、床に薄いふとんをひいて運動しましょう。

きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Grid area for writing names of people to meet.

Grid area for writing preparation materials.